

診 断 書

氏 名 原告妻 様
生年月日 1945/10/08 生

病 名 化学物質過敏症、 受動喫煙症レベル IV

1年前から団地の~~1~~階にミュージシャンが家にいてデンマーク産のコルトとインドネシアのガラムなど甘く強い香りのタバコを四六時中吸うようになり、徐々にタバコの煙に過敏になっていった。煙を感じるたびに喉に低温やけどのようなひりひりする感じが出始めた。このためマスクを外せなくなった。体調も悪くなり、体重が減少している。そのうちに香水などの香りがすると同様の症状がおきるようになった。

これは化学物質過敏症が発症し、徐々に悪化している状況であり、深刻な事態である。

上記のとおり診断いたします。

平成 29 年 04 月 12 日

東京都渋谷区広尾 4 丁目 1 番 2 2 号
日本赤十字社医療センター
電話 03 (3400) 1311 番

医 師 作 田 学 印

6
NPO 日本禁煙学会 理事長